



今回は、「土浦市地域公共交通総合連携計画」について紹介します。

☎ 都市計画課(☎826-1111 内線 2382)

平成20、21年度の2か年にわたり、土浦市地域公共交通活性化協議会(会長 筑波大学大学院岡本准教授)が作成した、市全体の公共交通の活性化を目指す「土浦市地域公共交通総合連携計画」が、市長へ報告されました。



計画では、基本理念や基本方針、目標を定めるとともに、委員のみなさんから出された多くの意見を踏まえ、幅広い視点から公共交通活性化のための事業が位置付けられました。

今後は、計画に定められた各種事業を、協議会を中心に、市民や企業の皆さん、交通事業者、行政機関が協力しながら、順次実施していくことになります。今年度は、公共交通案内マップ・案内ホームページの作成やバス路線空白地区への交通機関導入に向けて、地域のみなさんとの協議を進めていく予定です。

公共交通を地域の社会生活基盤、地域の財産として残していくためには、みなさんがマイカーだけに依存した生活を送るのではなく、公共交通とマイカーを上手に使い分けていくことが必要です。「公共交通はあった方がいいと思うけれど、自分はマイカーだけしか使わない」という人ばかりでは、公共交通を維持することはできません。

公共交通の活性化のためには皆さんの支援が必要となりますので、ご協力よろしくお願ひします。

なお、計画については、市ホームページまたは、都市計画課で閲覧できます。

正しく飼ってご近所から愛される猫に

猫は、昔からわたしたちの身近で暮らしてきた愛らしい動物です。しかし、無責任な接し方をする人によって、各地でさまざまな問題が起こり、多数の苦情・相談が寄せられています。

猫に関するトラブルや不幸な猫たちを減らすため、猫との上手な暮らし方を考えてみましょう。

☎ 環境衛生課(☎826-1111 内線2407)

〈飼い主の心構え〉

❖ 野良猫と区別するため首輪などを付け、室内でエサを与えて飼育しましょう

事故や病気の感染を防ぐためにも、できる限り室内飼いにしましょう。飼育する猫の数は、居住環境をふまえ、飼育可能な最小限にしましょう。

❖ トイレのしつけをしましょう

猫用トイレを設置し、決まった場所で排泄させるようにしましょう。屋外で排泄したときも速やかに除去し、周辺環境の清潔を保ちましょう。

❖ 避妊・去勢手術を受けさせましょう

メス猫は年に2回ほど出産し、1回に2~8匹の子猫を産みます。無計画な繁殖をして不幸な命を作らないために、産まれない手術を受けさせましょう。また、手術を受けた猫は、発情期に夜通し鳴くことやケンカがなくなり、尿のにおいもうすくなります。

❖ 猫が苦手な人がいることを認識しましょう。

猫が嫌いな人や、アレルギーで近寄れない人がいます。周辺地域の人の立場を尊重し、迷惑をかけることのないよう心配りを忘れずに、地域での円滑なコミュニケーションに努めましょう。

飼い主のいない動物に エサだけを与えることはやめましょう

屋外で猫にエサを与えれば、野良猫などが集まってきます。メス猫は次々に子猫を産み、数は増え続けるばかりです。しつけをされていない猫はところかまわず糞尿をし、周辺の住宅に入り込んで庭を荒らしたり、車を傷つけることもあります。そうなるとは猫が嫌われる存在となってしまう、猫にまつわる苦情が人間関係にも影響を及ぼします。

エサを与えるなら、飼い主として責任を持って飼育しましょう。

また、ハトなどの鳥にエサをあげることに迷惑している人がいます。

自分の行為が周辺の人々の生活環境の悪化を招いていないか、もう一度考えてみましょう。

